2 魔法少女まどか☆マギカ［魔獣編］

PUBLISHED BY HOUBUNSHA, MANGA TIME KR COMICS

漫画＝ハノカゲ　原案＝Magica Quartet

Presented by Hanokage
Based on story by Magica Quartet.

Don't forget. Always, somewhere, someone is fighting for you.
—As long as you remember her, you are not alone.

CONTENTS.

Puella Magi Madoka Magica

Table of contents:

第4話

はっ
はぁ

はっ
はぁっ

ー…
ちゃん…

…ほむらちゃん

……

まどか？

まどか…？
ここにいるの？

こっちだよ…
ほむらちゃん

置いて
行かないで…

…そうだよ
わたしだよ…

本当に
まどかなの？

待って

まどかぁっ…！

…まってた…よ

やっと…あえたね……？

ほむらちゃん

パサ…

……ここは…

……

カチャ…

ムッ…

暁美さん

私との約束を反故にしたわね

言ったはずよね
あの大物魔獣は
危険な個体だって

ぎゅ

…想定外が起きたのよ

あなたを信頼していたからこそ
これまで単独行動を許してきたのに

本当に残念だわ

私が忠告を受けたのは「大物魔獣」に関してだけ

相手が大物魔獣一体のみならば私一人の力で確実に仕留められたはず

雑魚ならまだしも別の強力な魔獣の存在なんて…聞いてない

事の始終はキュゥべえから聞いているわ

別の魔獣についての説明不足は悪く思ってる

それでもあえて言わせてもらうけど

今回の暁美さんの判断は明らかに実力の過信だったし

そもそも命懸けの戦いに想定外なんて言い訳は通用しない

そうは思わない？

………

カチャ

…なんてね

起き抜けに説教はちょっと堪えたかしら？

ともかく無事で何よりだったわ

魔獣に負わされた傷も軽いものだけだったし処置しておいたから

治癒魔法…

…色々と迷惑をかけてしまったみたいね

それじゃあ私はこれで…

コッ

えっ!? ちょっと待って暁美さん!

まだ何か?

……言いたいことは山程あるけど

それよりまず起きたらあなたに確認してもらいたい事があったの

暁美さん

今から私の前で魔法少女に変身してみてもらえない?

魔法少女に？
どうして…
…？
ス…
スゥ
じっ…
カァ
ッ…
…問題ないのなら良いわ
次は武器を出してみて
ちょっと待って
ふざけてるの？
こんな事に何の意味が
いいから出して

ヒュッ
……ッ
どうしたの？
………
………変身は出来るけど武器の方が駄目なのね
恐らく魔獣に魔力を持っていかれてるわ

………どういうことよ？
巴マミ

魔力を
持っていかれた
って……

厳密に言えば
私達の魔法の源
…そして

魔獣の餌でもある
「感情エネルギー」の
ことなんだけど…

ほら

ソウルジェムの
輝きが鈍く
なっているのが
証拠

魔力を
消耗した時の
濁りとは
違うでしょう？

大物魔獣との
戦いの最中に
奪われたと
考えるのが
妥当だけど

暁美さん自身に
心当たりは
ある？

………

見たところ
変身だけは出来る
みたいだから

今すぐ大事に
至ることは
ないと思うけど…

奪われたのは
魔力だけじゃ
ない……

え？

思い出した
あいつらは
まどかの
形見を……

こんな所で
もたついている
場合じゃない…！

ねえ巴さん！

どうすれば私の力は元に戻るの？

えっ⁉

今すぐにでもあの魔獣どもを追いかけないと！

急かされても対処法までは私にも…！

あ…暁美さん落ち着いて

…っ⁉

ス…

…気を揉ませてしまったのならごめんなさい

私自身魔獣との交戦で多少の魔力を奪われた経験はあるけれど

武器を生み出す魔力まで奪われるケースを見るのは初めてで…

僅かばかりの感情エネルギーなら自力で補う事も可能なんだけれど…

………

力を奪った魔獣を倒せば元に戻ることは？

可能性としては考えられると思うけど…

なら…

少しでも可能性があるのなら事を急ぐべきじゃないかしら

私が魔法少女に復帰して数週間…大物魔獣が姿を見せたのは今日が初めてだった

次に現れるのはいつになるか…

………

そんな丸腰の状態で大物魔獣とどう渡り合うつもりなの？

暁美さん…焦る気持ちはわかるけど冷静になりましょう

今のあなたが足掻いた所で事態は好転しないわ

こうして命があっただけでも運が良かった事なのよ

あなたの力は私も佐倉さんも十二分に認めているけれど

こんな時だからこそもう少し私達を頼りにしてもいいと思うの

大物魔獣の居所は私と佐倉さんとで必ず突き止める

だから暁美さんは力が戻るまで魔獣との接触を避けて…

けど…！

…いいえ
暁美さん
これはお願い
じゃない
見滝原を守る
魔法少女の
リーダーとしての
命令よ
私の判断が
不服なら
いくらでも
相手になって
あげるけど
どうする？
無論
手加減
無しでね
コ…
ギュ
……………
巴マミ

私はもう
大丈夫よ

じ……

……ッ

……えっ？

ハッ

……ねえ
巴さん

今日は
助けてくれて
ありがとう

魔獣に不意を突かれてしまうなんてベテラン失格ね

あなた達の手を煩わせてしまって本当に申し訳なかったわ

……？

えっと…暁美さん…？

でも巴さん達が「援護に来てくれたお陰で命拾いしたわ」

「一人だったら今頃魔獣たちに感情を奪われているところだったもの」

幸い怪我も大したことなかったし夜も遅いわ

巴さんの迷惑になってしまう前にそろそろ帰らせてもらうわね

………

え…ええ

そう…ね……

本当に…

怪我だけで済んだのは不幸中の幸いね

あなたの事は信頼してるけど無茶ばかりは考えものよ

万一魔獣に感情を奪われでもしたら一大事なんだから

ええ

肝に銘じておくわ

おやすみなさい

バタン

君も災難だったとは思うけどさ

あんな強硬手段じゃまたマミに怒られるよ？

構うことないわ

こんな魔法でも使えるだけの魔力が残っていて助かった

…ふむ

残念ながら魔獣相手には役立ちそうもないけどね

君の「記憶操作」の魔術は

…対人相手にしたって限定的な効力しか望めないから

せいぜいその場凌ぎがいいところ

あるに越したことはないけど…不便な魔法だわ

「時間操作魔法」なら魔獣との戦いでも大いに有効活用出来ただろうに残念だね

…やけに食いつくわねその話題

知的好奇心というやつさ

ある一定の期間を無限に繰り返し

更に時の流れを一時的に止める事も可能な「時間操作魔法」だなんて

そんなイレギュラーな魔法が本当に存在していたのなら

僕としては是非とも調べてみたいところだったのに……

もしもまた時間操作魔法が使えるようになったら僕に教えてくれよ

…まあその前に本来の魔力を取り戻さないとだけどね

感情を持たないくせに嫌味は得意なのね

私がかつて行使していた「時間操作魔法」

幾度となく酷使してきた私の魔法は改変された世界において――

武器とともに効力をも変化させ私は弓を手に「記憶操作魔法」を操る魔法少女となった

まどかと別れた後意識を取り戻した私が持っていたものは新たな魔法とまどかの記憶のみ…

書き換えられた世界の記憶を持たない私が特に不便もなく

新たなルールに順応する事が出来たのはこの魔法があったからだ

なぜこの世界で私の魔法が変化したのかは解らないけれど

これもまどかによって世界が書き換えられた影響だと考えている

…でも……

どうして時間操作の代わりの魔法が記憶操作なの…？

…あ！

ほむら
お前…

魔獣に怪我
負わされたからって
マミの所で手当て
受けてたんじゃ…

！

わっ バカ！
ちょっと待て
妙な魔法とか
使うなよ!?

別に連れ戻したり
しねえって！

マミの説教
聞き飽きて
トンズラこいて
きたんだろ？

あいつに
捕まると
面倒なのは
知ってるしさ

………

…ねえ
佐倉さん

前から
思っていたの
だけれど…

その…
一つ質問しても
いいかしら

？
何だよ

あなたどうして
この街に
いつまでも
残っているの

美樹さやかは
もう…

消えて
しまって
居ないのに

……なんだ
そんな
しょうもない
事かよ

敵討ちさ
さやかのな

あんたもあの
でかい魔獣に
やられたんだろ？

あたしは奴を
ぶっ倒さなきゃ
腹の虫が
収まらねーの

パキッ

なんか
文句ある？

…いえ

あなたの目的が大物魔獣なら話が早いわ

よければお互い情報交換をしましょう？

あいつの居所を突き止めたいのは私も同じだから

ああ？

まさかあたしの獲物を掠め取ろうって魂胆じゃ…

勘違いしないで敵討ちになんて興味無い

ただ私は奴らに奪われたものを取り戻したいだけ

本当かよ うさんくせーな

……けど

大物魔獣捜しに手こずってるのはあたしも同じだしな…

…まぁ

考えておいてやってもいいよ

あたしにトドメを譲るって話ならね

くれぐれも
あたしの邪魔だけは
すんじゃねーぞ

………

はぁ

……っ

…本当…
バカみたい…

一刻も早く
奴等を見つけ
出さなきゃ…

こんな無様な姿を晒して
まどかに顔向けなんて
…できる訳がない……

ふぅ……

私って…

先輩に向いてないのかも………

ゆうべは頭に血が上って冷静さを欠いてしまったけど…

こつぜん…

あ…!? 暁美さん…

逃げたわね～!?

もぅ～…

美樹さんの時だって…そうだったじゃない

暁美さんだって突然の事でショックを受けてたはずなのに

…もう少し言葉を選ぶべきだったよね……?

うぅ～～ん

私はいつも無力で…

…………

佐倉さんも
暁美さんも

いつかは
私も………

ううん！
こんな弱気じゃ
いけない

魔獣に
付け入る隙を
与えたら駄目
………

ピンポーン…

ウイイイ…

!!

……？ほんの一瞬だけど

魔獣の瘴気が…？

気のせい…？

コッ…

コッ…

チャ。。

…ただいま

どうだい？
魔力の調子は？

分かりきった事を
いちいち訊かないで
ほしいわ

……日が経てば
少しくらいは
魔力も戻るものかと
期待したけど…

グリーフキューブも
効果がないみたい
だし

グリーフキューブは
あくまで行使した
魔法によって生じる
「穢れ」を取るもの
だからね

君が魔獣に
奪われたのは
魔力の絶対量…
つまり容積自体が
小さくなっていて

ソウルジェムの
本質が大きく
損なわれている
状態なんだ

空っぽ
empty

魔力
magic

元々無いものに
グリーフキューブを
使っても意味が
ないのは当然さ

君の期待を
裏切るようで
悪いけど
奪った魔獣を倒して
魔力が戻るという
話も訊いたことは
ないし……

取られた分の魔力は
自力で回復する以外に
手立てはないと
思うよ

へ…

それでも私は
奴等を捜すわ

一概に
捜すと言っても
手掛かりは無いし
この街は広いよ？

ほむらの
魔力を奪って以後
雑魚魔獣ですら
すっかり鳴りを
潜めてしまったし…

…ひょっとすると

魔獣たちは
最初から
君の力を狙って
いたのかも

…何それ
どういう
ことよ？

大物魔獣と
対峙した時
君は強力な
魔法を見せて
くれただろう？

どうやら 魔法少女の
魔力の強さと
相対する魔獣の強さは
比例しているよう
なんだ

君の持つ膨大な魔力に
引き寄せられて
あれだけの数の魔獣を
呼び寄せてしまったと
考えれば説明がつく

もしかしたら…
見滝原の魔獣が
活性化した原因も
君の潜在能力に
あったのかもね

…そんな
まさか

巴マミ…

残念ながら今日は観念するより他ないかな

……

コッ

コッ

コッ

………？

ガタン
ガタン
ガタン
ガタン

散々歩き通して
たった
これっぽっちか

腹の足しにも
なりゃしねえ

これまでの
魔獣の数が
異常だったのよ

街の被害が
最小限で
済むんだから
喜ばしいことよ

そりゃ
そーだけどさ

さやかが消えちまって…あれから何日だ

三週間…いえ明日で丁度一カ月

慣れるものじゃないわよね

お互いに

……あたしは別に湿っぽい話題を振りたかったわけじゃ……

っていうかさあ

あんたいつまでそうシケた面してんのさ

………

佐倉さん

おかしな事を…質問してもいい？

はぁ？おかしな事って？

…もしもの話よ

もしも死んでしまった人が目の前に現れたら

佐倉さんなら…どうする？

………

はぁっ!?

なにをすっとぼけた事を…熱でもあるんだろ

…もちろん

仮定の話で聞いてくれればいいわ

そう例えば夢の中で

美樹さんや…家族にもう一度会えたとしたら

佐倉さんだったら…どうしたい？

…どうって………

わかんねーよ
…そんなの

そうだよね

ごめんなさい

気分のいい話題じゃなかったわね

解ってるつもりだったの

そんな夢みたいなことありもしない幻だって

おい…本当に大丈夫か？

平気

今の話は忘れてちょうだい

佐倉さん
明日からは
それぞれ別行動を
とりましょう
引き続き用心は
必要だけど
二人チームじゃ
効率が悪いものね
ああ…
っておい!?
おやすみなさい
………………
行っちまい
やがった
なんなんだよ…
ったく……

コッ…

ポク…

………

…誰だい？

コ…

あんたは…

夜分遅くに失礼致します

美樹さやかさんのお友達とお見受けしましたが相違はございませんね？

…申し遅れましたわ

私 美樹さやかさんのクラスメイトの志筑仁美と申します

初対面で失礼とは存じますがあなたに折り入ってご相談がございます

少しだけお時間を頂戴しても宜しいでしょうか？

こいつさやかの恋敵の…

まさか尾けてやがったのか？

人違いじゃない？

美樹さやかって誰さ？

あたしの知人にそんな名前の奴は…

いいえ

隠し立てなどなさらず結構ですわ

先程までのあなた方のお話は全て耳にしていますので

…ちっ

…美樹さやかの
お友達があたしに
何の用だよ？
まさか神隠しの
犯人だとでも
疑ってるわけ？
あたしらを
ケーサツに
突き出そう
っての？
………
状況によっては
考えますわ
ですが
私の目的は
真犯人を暴く
ことでは
ありませんの
私はただ
知りたいんですの
さやかさんの
本当のことを
…さやかさんが
居なくなって
しまって
もうまもなく
一カ月が
経ちますわ

ご家族の方々…私たちクラスメイトも皆

さやかさんの失踪の手掛かりを知る人は誰一人いませんわ

ほんの些細な事柄でも構いませんの

何か事情をご存知ならばどうか教えてほしいのです

どうしてさやかさんがいなくなってしまったのか……

…………

そいつを知ってあんたはどうすんのさ

申し上げた通り私は事実を知りたいだけですわ

教えてくだされば ここで見聞きした事 そして

あなたと今夜お会いした事も全て忘れるつもりです

あなた方の素性が暴かれる心配はないと思いますわ

幸いあなたがさやかさんと関わりがある事実を知っているのは私だけでしょうし…

私は嘘などは申しませんわ

ふーん。このあたしを強請（ゆす）るとはね…

それから……誤解をなさらないでほしいのですが

私はあなた方を犯人だと疑っているわけではありませんの

あ？

さやかさんは
時折私にあなたの事をとても楽しそうに話してくださいましたわ

…さやかが？

私はあなたの素性を存じ上げません
…ですが

さやかさんがあなたの事を信頼していたのは確かだったと思っています

あなたはさやかさんの大事なお友達ですわ
ですから犯人だなどと私は疑いたくありません

…いえ……

……むしろ本当は……

さやかさんがいなくなってしまったのは…

私に原因があったんじゃないかって……

…ずっと……

……こんな懺悔みたいなこと

自分だけの胸に留めておくのが正解だって
他人に答えを求めるなんて狡い事だとは百も承知ですわ

それでも私はどうしても知りたくて……

…なあ
あんたってさ

さやかの…
親友だったんだよな

……はい

私は少なくとも
今でもそう思って
いますわ

コツ

…そっか

本当に……誰にも
言わないって
約束できるんだな

1番線に

列車が通過
いたします

勿論…固く
誓いますわ

ガタン

さやかは——

ガタン
ガタン…
…あたしは赤の他人のあんたの事は何も知らないし付き合いの長いあんたよりさやかの事を知ってるわけじゃない
親友だったあんたと違ってさやかとは本当の友達ってやつになれたかどうかも…正直わかんねえ
けどさ
ただ一つだけあいつの名誉の為にも言えるのは…
さやかがあたしらの前から居なくなったのは
世を儚んだとか誰かに裏切られて絶望しただとかバカみてえな器の小さい理由じゃないって事なんだ
あたしが最後に見たあいつの顔は
笑ってた気がするんだ

…悪いけど
あたしの口から
言えるのは
ここまでだ

不満があるなら
警察にチクるなり
なんなり好きに
すればいい

…ただ
頼みがある

さっきのやつ…
見滝原中の生徒と
あたしが会ってた
事だけは

忘れてやって
くれないか

あいつは何も
…関係ねぇんだ

…………
十分です

もう…
結構ですわ

約束ですわ

ここでの話と
あなた方の事は
全て忘れます

教えて下さって

どうもありがとう

………

………ッ

……

…っ…

…

グッ

…なにがありがとうだ

あいつは
さやかは
本当なら死なずに済んだんだ
あたしがあの時意地張らなきゃ
だんまりなの？
まだ…終わりなんかじゃない
あいつのソウルジェムは
さやかを殺したのは………
本当は…！
まったくどうしちゃったのさ～？
そんなしょぼくれた顔してちゃあ
幸せが逃げちゃうぞぉ？

よっ

お二人さん

…久しぶり?

第5話

……………

嘘だろ…？

なんで…
さやかが……

さやか
さん…？

なあ…

冗談…だよな…？

いや〜

冗談じゃないんだな〜これが！

あっははは…

びっくりした？

や〜実はあたし自身もびっくり仰天なんだわ

突然まばゆい光に包まれたかと思ったら別次元に飛ばされちゃって〜みたいな？

気がついたらこの通り一カ月も経ってたってわけよ

これって神隠しだかキャトルミューティレーション体験だかってやつよね？

やばいわあたし取材きちゃうわ有名人になっちゃうわ〜

は……

はぁぁ——!??

いっいやいやいや
意味わかんねーぞ
おい!?
コッ
コッ
コッ
だってあんたは
あの時……
……仁美…
…怒ってる
よね?
あたしの事は
話せば長く
なるんだけどさ
…詳しい事情は必ず
皆に言うよ?
でもあたし自身
まだ全然心の
整理がつかない
っていうか
その…
ごめん…
ふざけ過ぎたね
今はまだ
何も聞かないで
欲しいって
いうか…
いいえ
違うんですの

ばっ

ごめんなさい
さやかさん!

…へっ!?

私…
さやかさんに

謝らなければ
ならない事が
ありますの!

ちょっ
ちょっと?
突然どうしたのさ 仁美!
何の冗談?

冗談などでは
ありませんわ!
真面目な
お話ですの!

どうか…聞いて
くださいますか

………?

……

そう…
だったんだ

告白するって
打ち明けた
あの日

仁美は一日だけ
待ってくれるって
約束を破って

あの日 恭介に
会ったんだね

ええ
そうですわ

さやかさんに
打ち明けたあの日
私は上条くんと
お会いしました

事実である以上
申し開きは
いたしません

じゃあ…

告白は…
したの？

…いいえ

今もまだ……ですわ

上条くんとお会いしたのは本当の偶然ですし…その日は雑談のみでお別れしましたわ

けれど

私がここで申し上げたいのは告白したかどうかが問題ではないということですの

私はさやかさんに「一日」お時間を差し上げました

それは一分一秒も同じ事ですわ

「さやかさんに差し上げた時間を私が奪ってしまった」

その事実に変わりはないのですから

……

なるほどね

仁美の言い分は理解したわ

それで？

仁美はどうしたいの？

あたしにどうしてほしいの？

………許されるなら

さやかさんとはこれからもお友達でいたいですわ

誠意を見せるってわけね

…ところで仁美はさ

あたしがこの街から消えた時

あたしのことをどれくらい心配してくれた?

…?

それはもちろん夜も眠れないほど本気で心配しましたわ!

本当ですわ! 私を信じてくださらないんですの?

あ〜いやいやいや

仁美を信用してないとかそんな事は全然ないんだけどさ

そうじゃなくて

仁美のそれって心配じゃなくて怖かっただけなんじゃないかな〜って思ってさ

だってさ

仁美は自分のせいであたしが死んだって思ってたんでしょ?

!

あたしが失踪して何日経っても帰ってこなくなって

次第に仁美はある不安を抱くようになったんだ

「美樹さやかがあの日告白できていたら失踪を防げたんじゃないか」って

一日待つってルールを破って二人で楽しげに談笑してた一分一秒の中に

もしかしたらあたしが恭介に告白をしたかったタイミングがあったのかもしれない

自分のせいで美樹さやかは告白のタイミングを逃してしまったんだとしたら？

もし本当にそうだったとしたら…仁美のした事ってとんでもない裏切りだよね？

…やっぱりさやかさんはあの日告白するつもりで…

…そこでだよ！

仁美にひとつあたしからの提案なんだけどさ

………

恭介をあたしにちょうだいよ

ねっ？

それが誠意ってもんじゃない？

………

さやか…さん？ど…どうしましたの…

コッ

コッ

だってあたしら親友じゃない

誠意見せてくれるんでしょ？

コッ

…嫌なの？

じゃあどうすんの？

恭介の代わりにあんたは何をあたしにくれるの？

………!?

その辺に
しとけよ
さやか

なによ 杏子

黙って
聞いてりゃ
なんなんだ？

お前なんか
おかしいぞ？

!?

友達でも
ないやつは
黙っててよ

何？ あんたは
あたしのこと
本気で友達だと
思ってたの？

ちょっぴり気前よく
話に乗ってあげた
だけで友達気分に
なっちゃった？

……

だいたい あんたさ
あの時の事
忘れたの？

あんたは
あたしのピンチを
知っていながら
グリーフキューブを
渡さなかったでしょ？

あんたって意外と
そういうとこ
おめでたいわよね

なんであの時
あたしに
渡さなかったの？

友達だったら素直に
渡せたはずよね？

誰のせいであたしが死んだと思ってんの？

…あれっ？

生きてるからここにいるんだっけ？あっはっは

そうだったわそうだった

神隠しだかキャトルミューティレーションだかなんだかで

ご都合主義よろしくさやかちゃんは帰って来たってシナリオだったたっけ

うっかりだぁ～

さ…さやかさん…？

てっ……てめえふざけるのもいい加減に…！

あ ごめん

手が滑ったわ

パキッ

パキン

パキッ

パキ…

……そうさ

あんたの言う通りだよ

わかってんだ

おめでたいのは あたしだって……

あいつは……

さやかは…

……もう……

さやかは……

死んだんだ…！

いつぶりかなぁ
みんな揃って
三人でのおさんぽなんて

今とてもわくわくしてるの

もう子供じゃないのに変だよね

あのね

あの日から二人が居なくなって

それから私たった一人でとってても頑張ったのよ

家事にお買い物それから学校生活…

そうお料理やお菓子の作り方を教わっておいたのは助かったかな

二人とお別れしたばかりの頃は毎日が必死で

眠れなかったり泣いてばかりだったけどもう大丈夫

近頃は随分落ち着いたし少し大人になれたかなって思ってる

色々あったけど……今はね

あの時叶えた奇跡を後悔してないの

ねえパパとママ

もう一度逢えて
とても嬉しいわ

でも
ダメなの

私達は
一緒にいては
いけないの

だって

私は魔法少女ですもの

ごめんね・・
パパとママ・・

すべての「魔獣」を倒すこと

それが

私の使命なの!

キュオ
オォ
……っ!?

こいつは……
一体何なんだ？
魔獣なのか!?
はっ
……
……
!?

なっ…!?

てめえ逃がすかコラ!

お待ちになって!

これは一体どういう事ですの?

あのさやかさんは一体…!?

………言っただろ

さやかはもうどこにもいないって

ここであった事は全部忘れるって約束だったよな

………

…約束だかんな

ちくしょう どうなってんだ?
全然追いつけやしねえ!
!!
くそ…待てっ!
さやか!!

トス…

さすがに
人気の無い所に
魔獣は現れない
かしら…

…いや ノーマル魔獣の
行動パターンと
あの大物魔獣が
同一だとは限らない

念のため隣町にも
捜索範囲を
広げるべきか…

…よぉ

魔獣捜しは捗ってるかい？
佐倉杏子…
何か用事かしら
魔獣の手がかりでも持ってきた？
ああ 実は朗報だ
見つかりそうだぜ魔獣どもの手掛かり
え…
本当に？
それからあんたに渡したいモンがあるんだけどさ
ちょっとこっちに来てくれるか？
？
何……？

……え？

パキ
パキ…

はぁ

はぁ…

なっ…!?

…巴マミ！

駄目ッ！
暁美さん！

今すぐ
佐倉さんの
側から離れて！

!?

そいつは
佐倉さん
じゃない…

魔獣よ！

……!?

スタッ

私が囮になるわ
あなたは逃げて

巴マミ！
これは!?

ごめんなさい
こっちも状況を
掴みきれて
なくて……

こないだの事は
目を瞑って
おいて
あげるから

……いいえ
私も戦うわ

え？

今のあなたで
どうやって…

大丈夫

ジィッ

これ以上借りを増やしたくないの

…っ!?

………

暁美さんって……
確か武器は弓だったわよね

ええ…？

ところで射撃にご興味は？

…ふん

私を甘く見ないで頂戴

得意中の得意よ

あら そうなの？ 意外だわ

――でも

好都合ね！

……扱いづらい……

やるじゃない
暁美さん

……
これが本当に
魔獣だって
いうの？

人に擬態する魔獣なんて聞いたこともない

ええ…私もそれについては同感だけど…

どうやら佐倉さんに化けていても攻撃は普通の魔獣のようね

キュ

それなら…っ

イイイ

手数で畳み掛けるのみ!

ドドドドド

ドドド…
えっ…？
!?
ぎゃあッ
巴マミー！
ちっ…

ダッ
ダッ
グッ…
そんな!?

ッ…

ブッ…

パキ

パキ

パキ

暁美さん!

ギ…
ギギ
……え？
ギ
ギギ
ギギ

また避けた…

大丈夫
暁美さん？

……今

…一瞬だけ

時が
止まった…？

私じゃない…

…はず……

一筋縄では
いかないみたいね

こちらの
動きを
読まれる上に

さっきのは…
瞬間移動？

…いえ
「時間操作」
かもしれない

時間操作？

…って…
何…？

さっきの奴の攻撃パターンに覚えがあるの

自分以外の時を止めて相手を攪乱し

一切の隙を与えず先手を打つ…

それが時間操作の力よ

魔獣にそんな芸当が可能なの？

いいえ…聞いた事もないし

私だって信じたくはないけど

…でもさっきの攻撃は…

…

相手の手の内が読めているなら

何か有効な手段はないの？暁美さん！

……奴が

本当に時間を止められるのだとしたら

奴の身体と接触さえすればいい

武器でも何でも構わないわ

時間操作の使い手と接触している間は時間を共有できるはずだから

接触…私のリボンは使える？

有効よ…でも

こちらの出方を読まれてしまっては意味がない

何か…

何か策は……!?

私が手伝ってあげましょうか？

……え？

何……？

魔獣の時間操作能力を打破したいんでしょう？

！

……誰？

大丈夫…あなたの敵じゃない

このままでは遅からず二人共やられてしまうわ

巴マミの魔法だけでは一手足らない…だから私が助言をしてあげる

どうする？信じる…？

……

暁美さん?

巴マミ

リボンをこっちに！

ポワ…

！

パシッ

いい策でも思いついたの？

ええ…多分

多分って…

大丈夫なの!?

動かないで

…引きつけるわ

…今っ!

タ

キィィィ…

ピ

ピ

ピ

ピ

…煙幕弾!?

暁美さん
これじゃあ
視界が…

そのまま
何もせず
じっとしていて

…えっ？

………

…教えて
魔獣はどこ？

………
視界を塞がれて
慌てている…
でも少しずつ
近づいている

もう少し…

…来る！

真上！

巴マミ
私の頭上に緊縛魔法を！

!?

魔獣はそこよ

どういう…？
……んもう！

説明不足なんだから！

ギリ…
ギリ…
ギリ…
ブォ
今よ！
…手加減はしないわ
今日の私は虫の居所が悪いの！

ティロ・フィナーーレ!!

ゴォ…ッ

………やった…？

…いえ

手応えはあったけど

トドメに至ったかどうかは五分五分ね

……っ

…深追いはやめましょう

マミ！ほむら！

こんな所にいやがったのか！捜したぞ！

!!

な…何だ!?

今度は本物かしら

じょ、冗談じゃないよ

人に会うなり銃向けるってどういう了見…

ん？

本物かって もしかして あんた達も妙な魔獣を見たのか？

ニセモノのやつ！

佐倉さんも？

ああ…全然訳わかんねえけど

魔獣のやつがさやかに化けていやがったんだ

追いかけてるうちに見失っちまったけど一応あんた達にも伝えとこうと思って…

美樹さんの…

一度話し合いの場を設ける必要がありそうね

…今日はもう遅いし学校もあるからこのまま解散

明日の放課後私の家に集合でいいわね？

ああ

わかったわ

各自くれぐれも

夜道には気をつけて

さっきの声は一体……
もう少し…
…来る！
真上！
わたしを探してるの？
ト…

ひさしぶりだね
会いたかったよ

ほむらちゃん

第6話

間に合ってよかったねほむらちゃん

さっきの戦いで声かけたのはわたしなんだ

びっくりした?

まどか…

パチ

…じゃ…ない

パチ

ザァァ…

…そうだよ

わたしは
ほんものの
まどかじゃない

ほむらちゃんは
わたしたちを
こう呼んで
いたっけ

ギッ

「魔獣」って

!

!?

わーーっ!!

まってまって
ほむらちゃん!

違うの! わたしは
ほむらちゃんと
争うつもりじゃ
ないんだよ!?

生憎だけれど
私を騙そうと
したって無駄よ

魔獣の甘言に
乗るつもりは…!

はっ

ばっ

ほむら
ちゃん!

っ!!

これだよっ
これ!!

…？

それって…

うん

これ…
ほむらちゃんの
大事なもの
でしょう？

ごめんね
勝手に持って
いったりして

わたしたちも
いじわるした
わけじゃないん
だけど
強いちからが
込められていた
ものだったから
勘違いしちゃったの

わたしたちには
必要ないものだから
お返しするね

…わたしの話
少しだけでも
聞いてくれる
気持ちになった？

……

…どういうつもりなの？

お願いがあるのほむらちゃん

ほむらちゃんの力を奪った「あの魔獣」を

倒してあげてほしいの

──わたしたち魔獣はね

人が生み出す「あぶないもの」をこの地上に増やさないために生まれるの

「あぶないもの」？

そうだよ
わたしたちがニンゲンからあつめたり
ほむらちゃんたちがすごい力を使う時に必要なもの…
って言えば伝わるかな？
魔獣が人から奪うもの…
もしかして「感情エネルギー」の事を言っているの？
カンジョウ・エネルギー？ほむらちゃんたちはそう呼んでるんだね？
またひとつ賢くなったよ～
………
からかってるの？
ええっ!? ち 違うよ！ わたしたちの事を言葉で説明するのって初めてだから…！
上手に伝わってるかな…？
……続けて
……うん それでね
ニンゲンの持つ「カンジョウエネルギー」がこの地上にたくさんあふれかえるって事は
わたしたちにとってもこの地上にとってもすごくあぶない事なの

だからわたしたちは
毎日ニンゲンから
カンジョウ
エネルギーを
吸い取りながら

本当に
あぶない事が
起こらないよう
見張っているん
だけど…

ある時突然
とても
あぶない力の
気配を感じたの

ほむらちゃんたちが
マホーショウジョって
呼んでるニンゲン
みたいに

強いカンジョウ
エネルギーを持つ
モノが現れる事は
珍しくはないんだ
けれど

それを抜きにしても
わたしたちが
感じた力は
ひときわ強いもの
だったから

わたしたち
魔獣もキケンを感じて
力の発生場所を
みんなで探ることに
したの

そうして
力の源を特定した
わたしたちが
行き着いた先に
いたのが…

ほむらちゃん
だったんだ

…!

わたしたちも この地上のために あれだけの強い力を 見過ごせなかった

だから わたしたちの中で 一番大きな個体が ほむらちゃんの力を 貰う事になったの

つまり 私の感情エネルギーが この地上にとって 不都合だったから

大物魔獣を使って 私の魔力を 奪ったってわけ

そういうこと だね

ほむらちゃんに 直接恨みが あったわけじゃ ないんだけど…

……質問しても いいかしら

……

あなた達が 一般人をターゲットに しなければならないほど 感情エネルギーを 危惧する理由は何？

呪いの力なら いざ知らず

魔法少女の魔力 すなわち 希望の力までも なぜあなた達は 危険視するの？

？

キボウ？

ノロイ？

う〜ん 難しいことは わかんないけど

とにかく カンジョウ エネルギーが あぶないのは ホントだよ！

ニンゲンの
カンジョウ
エネルギーは
決して甘く見ちゃ
いけないの！

ばばーーん!!

もしも
わたしたち魔獣が
カンジョウ
エネルギーを
放っておいたら…

天地がひっくり
返っちゃう事
だってありえるん
だから！

ほむら
ちゃんなら
わかって
くれるよね？

要領を得ない
………

質問を
変えるわ

あなた達
魔獣はなぜ突然
私達の前で

人間に化ける
ような真似が
できるように
なったの？

これまで
魔獣と戦ってきて
あなた達のような
個体を見るのは
初めてだけど…

そうだよ！
それだよ！

わたしたちこそ
カンジョウ
エネルギーの
影響なんだよ

ほむら
ちゃん！

??

！

ど……
どういうこと？

えっと…
さっきの話の
続きをするね

ほむらちゃんたちが「グリーフキューブ」って呼んでいるものがあるでしょう？

わたしたちは集めたカンジョウエネルギーをちいさな形にして安全なものへと換えることができるんだけど

ニンゲン

マジュウ

グリーフキューブ

カンジョウエネルギー

集める

固める

アンゼン

ほむらちゃんから吸い取ったカンジョウエネルギーは少し違ってたっていうか…

ホムラ

なぜかグリーフキューブに換えることができなかったの

グリーフキューブにできない。

それどころかカンジョウエネルギーは魔獣の体の中で膨れる一方で

大きな魔獣の体でさえも抑えがきかなくなって…

次第に大きな魔獣は本来の魔獣とは違う性質のものへと姿を変えていったの

わたしたち小さな魔獣もエネルギーの消化を手伝ったけれど

やがて溢れ過ぎたカンジョウエネルギーに飲み込まれる事態になってしまったの…

…それからどうなったかはほむらちゃんも目にした通り

…そうそれがわたしたち

ニンゲンの形をとった魔獣だよ

ほむらちゃんの力を奪った一番大きな魔獣はほむらちゃんの力の消化に専念するため

わたしたちも知らない所へ身を隠してしまった

でもあの魔獣がわたしたちのように飲み込まれるのも時間の問題…

このままあぶない力を抑える事ができなくなって

カンジョウエネルギーが地上に溢れかえってしまったら…きっと大変なことになる

だからあの魔獣の居所を突き止めて消し去ることでほむらちゃんに力をお返ししたいの

………

大物魔獣を消し去ることがあなたの望み？

コク…

ねえ
ほむらちゃんなら
手伝って
くれるよね？

ほむらちゃんだって
この世界を守るために
戦っているんでしょ？

なっ…

マミさんや
杏子ちゃんにも
手伝ってもらって
みんなで協力すれば
きっと…

私の力を
勝手に奪ったのは
あなた達でしょう？

都合が悪くなれば
一方的に後始末を
押し付けるなんて
虫がよすぎるわ

協力するしない以前に
変異した魔獣は
私達を騙して
襲いかかってきた

あの魔獣達と
仲間である
あなたの話を
信用しろと…？

わ…わたしは
他の魔獣とは
少し違うって
いうか……

その……

……一旦
私の家に
避難するわよ

早くついてきて
他の魔法少女に
見つかったら
事でしょう？

今の話を
信じるかどうかは
保留にしておく

あなたに対して
警戒を怠る
つもりはないわ
…いいわね

ありがとう
ほむらちゃん！
……！……
くっつかないで…
………
う〜む…
これはなんとも
奇っ怪で……
珍妙な個体を
拾ってきたものだね
ほむら
何か掴めそう？
キュゥべえ
魔獣…
であることは
間違いなさそう
だね
ざっと
見たところ
気になる
点といえば…

この個体からはほむらの魔力が強く感じられる

魔獣の内部組織と感情エネルギーが融合して性質が変化しているんだろう

人に擬態する魔獣なんて聞いたこともない

魔獣が人の形に姿を変えたというのは君の奪われた魔力が作用しているんじゃないかな

推測に過ぎないけれど記憶操作魔法を利用して顔見知りの人物に錯覚させていると考えれば合点がいく

とは言っても僕にはこの魔獣が人間の姿には到底見えないんだけど…

そうなの？

わたしの事を知ってる人じゃないと

まどかの姿には見えないし話せないんだよ

ふうん…

さっきの公園で遭遇した変異魔獣…

巴マミと共に戦った魔獣は時間操作のような能力も使っていた

キュゥべえの言うとおり

変異魔獣が私の魔力を利用して力を行使しているのだとしたら

やはり時間操作も私の魔力由来のもの…？

いえ そんなはずは…

時間操作の力なんてこの世界で一度も使えた試しがないし

そもそも私の武器は最初から弓だけだった…はず…

何かが…引っかかるような……

どうかした？

いえ…なんでも

注意してねほむらちゃん

わたしの姿はキュゥべえだけじゃなくて

他の人にもただの魔獣の姿にしか見えないからね！

…ええ 気をつけるわ

キュゥべえ何か他に気付いた所は？

…強いて言うなら

呪いかな

！

呪い…ですって？

ああ

この魔獣の体内には吸収されたほむらの魔力に混じってなぜか呪いの力も感じ取れる

魔獣はありとあらゆる感情エネルギーを吸収 無力化するという話だけれど

何らかの原因で消化不良となった呪いエネルギーが魔獣の体内で蓄積されているみたいだ

♪

魔法少女の魔力を吸収した魔獣が性質を変えた事例なんて聞いたことがないし

ムニ

もしかするとこの呪いエネルギーが今回の魔獣の変異を引き起こした一因なのかもね

ムニュ

益々調べ甲斐がありそうな個体だよ

…

言っておくけどこの魔獣の事は他言無用よ

折角得た手掛かりだもの

あの二人の目に触れると厄介だから

僕は勿論構わないけど…

まさかこのまま魔獣を君の家に住まわせるつもりなのかい？

わ…わたしほむらちゃんに危害を加えたりしないよ？

魔獣退治をお願いしてるのはわたしの方だし

ほむらちゃんの身に何かあれば戦うことだってできるし…

危害は加えないそうよ

そうかい…まあ招き入れた時点でもう遅いんだけどね

…それじゃあほむらちゃん

あらためてよろしくね

……ええ

一応頼りにはしているわ……

……さて

この変異魔獣一体どうしたものかな

魔獣の内部を巡る「呪い」の力……これほどの濃度を感知したのは初めてだ

魔法の行使によって穢れを生み出すソウルジェムですらある一定の穢れに達した時点で

「円環の理」が全ての穢れを魔法少女の魂と共に消滅させてしまうはずなのに……

この地上に存在しないはずの性質を有した魔獣……か……

ふ～ん
つまりゆうべの
おかしな魔獣
どもは

ほむらから奪った
記憶を弄る魔法を
自分のモノにして

あたしらの
顔見知りとして
化けて出やがった
ってわけだ

……って

ほむらあんた
いつの間に魔力なんて
奪われてたんだよ!?

あたし
初耳なんだ
けど…？

あら？
佐倉さん今まで
知らなかったの？

……っ
お前らなあ…

別にいいけどさ…
それで？
偽者対策は
どうすんのさ？

例えば
だけど

お互いに
予め合言葉の
ようなものを
決めておくとか？

合言葉の類は
通用しないわ
巴マミ

変異魔獣は記憶操作魔法で作られた魔獣よ

あいつらは自分の記憶の中にある人間に化けて私達を惑わすの

つまりこちら側の記憶は全て筒抜けになっていると考えていいと思う

ともあれ私達の目的は変異魔獣ではなくあくまで大物魔獣の捕捉と討伐

そこで

変異魔獣に惑わされず目標を捜すためにいくつかルールを設けたいと思う

一つ 予めお互いに捜索エリアを分担し 捜索中は干渉しない

二つ 決まった時間と場所を守り待ち合わせる

三つ 何かあれば直接会いに行くのではなく端末経由で呼びかける

最低限これらを守れば不意な変異魔獣の遭遇にもある程度対処出来るはずよ

…すごいわね 一晩でそこまで変異魔獣について調べあげたの？
…キュゥべえに調べさせたの
キュゥべえ？
は～ん？ お前たまには役に立つんだな
ふふん まあね
へ～え……
何か気になる事でも？
…いや 別に
…現状 暁美さんの言う手掛かりしか頼りに出来るものは無いし
私と佐倉さんはそのルールで行動するとして 暁美さんは…
私の魔力の事が気がかりなら心配要らないわ
例の大物魔獣が見つかるまで私は待機しているわ
キュゥべえと協力してもう少し変異魔獣について調べたいと思う

こちらの事情で申し訳ないけれど…基本はあなたたち二人に魔獣捜索をお願いしたい

その方が巴マミも安心して魔獣捜しに専念出来るでしょう？

ぱぁ…

暁美さん…

分かったわ私達に任せておいて！

必ず暁美さんの魔力を取り戻しましょう！

マミの火がついちまったな

おせっかいの

…あ

あたしそれ持ってねーんだけど…

あ

……私がどうにかするわ…

ふぅ…

コッ

コッ

ほむらちゃ〜ん
待ってたよ〜〜!

ブン

ブン

これから魔獣を捜しに行くんだよね?

待ちきれなくて迎えに来ちゃった

あなた…勝手に出てきたの!?

あの二人に見つかりでもしたら…

大丈夫だよ〜

う…

もしもの事があったらほむらちゃんの記憶操作魔法があるでしょう?

…それは…そうだけど

マミさんと杏子ちゃんの捜索場所は分かってるんでしょ？

……ええ

だったら問題ないよ

ねっ それじゃあ

ぎゅっ

えっ

張り切って行ってみよー！！

ちょっと

ま……

どう？

ほむらちゃん的にはこっちの方がいいかなって！

………

う～ん…

今夜も魔獣の影すら見当たらず…かぁ

ちょっと足がクタクタかも

奴の足取りが掴めない以上根気強く捜し回るしかないわ

相手が移動している可能性だってあるわけだし…

今日で丁度一週間経つしローテーションも一周するから

明日は最初に回ったエリアをもう一度…

……不安？

自分の力が
本当に
元に戻るのか
…心配？

でも大丈夫
大きな魔獣は
きっと見つかるし

ほむらちゃんの
力だって絶対に
取り戻せるよ

呑気なものね

これだけ
歩きまわっても
手掛かり一つ
見つからない
のに？

そうだよ

だって
ほむらちゃんには
わたしが
ついているもの

…ねえ？
ほむらちゃん

わたしのことって…正直どう思う？

…？突然何を訊くの？

どうって…話の解る魔獣と会えたのは助かるけど

そうじゃなくて

わたしほんものじゃないけど「まどか」なんだよ

！

ほむらちゃんはわたしを見ても一緒にこうやって過ごしても全然なんとも思わないの？

からかわないで
わっ
別に何も感じないわ あなたは所詮
偽者のまどかですもの
言ったはずよ あなたを信用するかどうかは保留だと
そんな風に冗談が過ぎると身の保証はできかねるわよ
…ふふっ
やっぱりそうなんだ
……何が可笑しいの
違うんだよ ほむらちゃん

ほむらちゃんが わたしを見ても 何も感じないのはね

心が欠けちゃった せいなんだよ

…もしかして

全然 気が付いて なかった？

わたしと初めて 会った時から 「変だな～？」って 思ってたん じゃない？

偽者でもあんなに 会いたがってた まどかだよ？ そんなわたしが 目の前にいるのに

ほむらちゃんは なぜか嬉しいって 気持ちには ならなかったでしょ

それはね あの時 魔獣に 心のほとんどを 取られちゃった からなの

まどかへの想いが 欠けているから わたしを見ても 触れられても

今の ほむらちゃんは 何も感じないんだよ

……そ…

そんなの嘘だわ！
ふざけないで感情を奪われたって私は私のままだわ！
私のまどかへの気持ちは何一つ変わらない！
私はあの子が守りぬいたこの世界を守るためにここにいる！
そのために一刻も早く魔力を取り戻して
魔獣たちを消し去らなければならないの！
そうよ…魔獣は私の敵
魔獣を倒す事が私の使命…
今は一時的にあなたを利用しているだけであなただって私の敵に変わりない
私を惑わすつもりなら私はいつだって…
ほむらちゃん

全然心がこもってないよ

ムキになっちゃうのが証拠だよ

今のほむらちゃんは気持ちと行動がちぐはぐなの

まどかへの好意と自分の役割という観念だけは覚えているのにね

怖いでしょほむらちゃん

たった一人の友達への気持ちが冷めていくのってどんな感じなのかな

………

見くびらないで

私のあの子への気持ちが力を喪った程度で揺らぐはずがない

私はあの子を裏切ったりしない

……そうやってほむらちゃんはこの世界を拒み続けるんだね

わたしね
知ってるよ
ほむらちゃんが
マミさんや
杏子ちゃんを
…ううん
まどかを知らない
この地上の人たちを
頑なに避けている
こと
ほむらちゃん
本当はすごく
怖いんだよ
「まどかの
存在しない
世界」…
まどかがいないことが
当たり前の世界に
ほむらちゃんまで
馴染んでしまったら
いつか自分まで
まどかを忘れて
しまうんじゃ
ないかって
まどかが
いないことを
認めてしまうんじゃ
ないかって
ずっと恐れてた
まどかの願いで
新しい世界が
生まれて魔女が
いなくなって
魔法少女にとっては
救いのある世界に
なったけれど
ほむらちゃんに
とっては
ひとりぼっちで
友達もできなくて
前よりもずっと
空っぽで…
寂しい世界に
なってしまった

ほむらちゃんの
心は今もまだ
みんなとは違う
世界を生きている

ほむらちゃん
本当は
魔女のいない
世界より

魔女のいた
世界のほうが
良かったって
思ってない？

どんなに辛かった
世界だって

あっちの
世界には

グ

ほむらちゃんの
大好きな…

それ以上
まどかの願いを
侮辱するなら
容赦しないわ

本性を
顕したわね

…よく
わかったわ

あなたの
姿形はまどか
そのものでも

お前は間違いなく魔獣で私の敵よ

…ふふ

そうだよ？

わたしはまどかじゃない魔獣だよ？

でもね

ほむらちゃんの心でもあるんだよ

……………

あれっ？
……ほむらちゃん？

うーん……
どこに
行っちゃったん
だろー…？

はぁ

はぁ

はぁ……

私の…まどかへの気持ちが欠けているですって…？

……っ…

…

冗談じゃない…

ぎゅ…

ありえない…私がまどかを裏切るわけがない……

私は…私だけはあの子を絶対に忘れない

あの子自身の存在こそが今の私の唯一の希望……

だってあの子は
まどかは私のたった一人の……

「まどか」は……

……私の……

……？

あれだけ息巻いて結局成果ゼロってどういうことだよ…

とっくの昔に別の街へ移動した可能性もあるんだろ？ならあたしらの一週間無駄骨じゃねーか

佐倉さん冗談でもそういう事言わない

でも確かに捜索エリアの見直しは必要かもしれないわね

…？大丈夫？暁美さん

顔色が随分悪いみたい…

他所の魔法少女のテリトリーをむやみに侵す事は避けたいけど…

…そう？

別に私はなんともないけれど

なんともない人は
そんなひどい顔
しないと思うけど？

まさか
暁美さん

私達に内緒で
魔獣捜索なんて
してない
でしょうね？

………

……ねえ
私たちって
そんなにも
信用に足らない？

私達は別に
意地悪がしたい
わけじゃない

ただ暁美さんに
無理をして
ほしくない
だけなのよ？

…ううん

本当の事言うと
あなたが見滝原に
来た時からずっと
気掛かりだったの

戦う術を奪われて
焦る気持ちはわかるし

魔獣討伐に
積極的な姿勢を
責めたいわけじゃ
ないけど…

暁美さんの
敵味方問わず
誰も寄せ付けない
自己完結的な
戦い方

傍から見ていて
あなたの心身に
相当負担を
かけている
気がして…

言い方は悪いけど……案の定こんな事態になってしまったわけだし…

魔獣退治も大事だけどそれを差し置いても自分の身を一番に考えないと

資本が万全でなきゃ私達だって気が気じゃないわ

難しいかもしれないけど

ほんの少しでもいいから良い方向に考えていきましょう

少しの休暇が出来たと思って体を休めるなり…

曖昧な物言いでお茶を濁さないで巴マミ

足手まといだと言いたいならはっきりとそう言えばいい

お…おいおい何カリカリしてんだ
なにもあたしらはそこまで言ってるわけじゃあ…
暁美さん何か不安を抱えているんだったら相談してほしいの
もっと気兼ねなく私たちの事を頼ったって構わないのよ
いえ暁美さんの言うとおり曖昧な言い方だったわ
私たちはいがみ合う敵同士じゃない
仲間同士なんだから
……取り乱して悪かったわね
気分が優れないの今日はこれで失礼するわ
お、
あっ…
ちょっと…暁美さん!
………

ゴロ…

トッ

トッ

……「願いを叶え」

「キュゥべえと契約を交わした少女は魔法少女となり」

「自らの祈りの為に魔獣と戦う使命を帯びる」…

だったかしら

私はずっと前から一つの「ある事」が気になってた

気になってはいたけれど答えを知るのが怖くて今日まで黙ってた

でもねそれを今　この場ではっきりさせたいと思うの

…キュゥべえ

私が魔法少女になるために叶えた願いを答えられる？

………

僕は君の願いを一切把握していない

…いや何故だろうね
君は確かに魔法少女なのに

………
悪い意味で予想通り

やはり私の願いは私の記憶の中にしか存在しない…

…いつだったかあなたは私に言ったわね

魔女と戦った私の記憶は「絵空事」だったと

ああ
そうだったね

もし例えば

その「絵空事」を私の魔法で真実に変える事は可能だと思う？

…まさか

この地上にいる一人ひとりの人間に記憶操作魔法で君だけの真実を植え付けるとでも？

途方も無い話だ非現実的だ

そのとおりよ

もう一度奇跡でも起こさない限り全ての人間の記憶を書き換えるだなんて到底無理な話

でもね

「たった一人の人間の記憶を書き換える」事なら私の力でも可能なの

他人の記憶だけじゃない

自分自身の記憶さえも………

何が言いたいか解る？

………感情を奪われた程度で私の気持ちが揺らぐはずない

グ…

まどかを信じる気持ちが消えるはずないって

そう思ってた

冷めていくのが
わかるの
自分の中の
まどかへの気持ちが
薄れていくのが
わかるの……
私の魂から…
ソウルジェムから
とめどなく
湧き出る疑念が
私に言うの
記憶の中にしか
存在しない
友達を信じ続けて
命を削り
続けるなんて
バカバカしい
って
それから…
あなたに語った
魔女の世界の話
まどかと
過ごした
思い出
あの魔獣の
まどかさえも
真実なんて何一つ
私の記憶の
どこにもなくて
全部 私が
私の魔法で
都合よく
創りあげた…

絵空事の

記憶に過ぎないんだろうって……

サァァァァ

……もしも

もしも本当に
私の記憶が
つくりもので

「まどか」
なんてものは
最初から
いなかったのだと
したら

私は何のために
魔法少女になって

こんな世界で
戦っているの？

この先誰かに
労われることも

報われる
こともなく

たった一人で
魔獣と戦い抜いて

消え去って…

それで…終わり？

こんなところに
立ってたら風邪
ひいちゃうよ

ね？
ほむらちゃん

一緒に
おうちに
帰ろう？

あ・・・

ま・・・待ってよ

ほむらちゃ・・・

パシャ

パシャ

暁美…さん

あ…

あのね
私達…

暁美さんの様子が
どうしても心配で

ス…

佐倉さんと
やっぱり
追いかけようって
話になって…

パシャ

パシャ

おい

何の説明もなしに素通りはさすがにないんじゃねーの

さ…佐倉さん

なあ　ほむら　あたしらの声聞こえてんのか？

なんか隠してやがるんじゃねーかと思ってたけどよ

なんであたしらに話さなかったんだよ…？

あんた…そいつが一体何か分かって……

放っておいて

あなたには関係ない

………

酷い顔だわ　あなたたち

そんなにもおかしな姿に見えるのかしら

この魔獣が？

……「魔獣が」…だと？

あんたこそ…正気に戻って鏡見ろってんだ！

誰がどう見たって　おかしくなっちまってるのは……

あんたの方だろうが!!

…やむを得ない

強引にでも引き剥がす！

すぐに助けるわ 暁美さん あなたは魔獣に囚われているだけ！

多少の手荒な真似は許して頂戴！

ほむらちゃん こうなったら仕方ないよ 記憶操作魔法で ここから逃げよう？

私が誰に囚われているですって？

…ほむらちゃん…？

私の心を囚えているのは魔獣なんかじゃないわ

「まどか」よ

まどか…？

その魔獣がまどかなの？

あなたたちには知る由もないから教えてあげる

まどかはね 私達 魔法少女を円環の理に導く神の名前

魔法少女に課せられた残酷な運命の呪縛を解き放つ

いわば魔法少女全ての希望なの

円環の理…

フン

つまりさやかもそのまどかって奴が連れ去ったってわけか？

ええ そうよ まどかが命を差し出し神にならなければ

美樹さやかなんて絶望に飲み込まれ惨い死を遂げる運命だったの

あの子は死を免れなかったけれど綺麗に死ねただけでもましだったのよ

な…ッ

ほむらてめえ
もういっぺん
言ってみやがれ
コラ！
冷静になって
彼女は魔獣に
感情を侵食されて
……
カンケー
ねえ！
さやかの死を
コケにされて
黙って
いられるか！
てめえは
とっとと正気に
戻りやがれ
ほむら！
あいつも今の
あんたみたいに
魔獣に囚われて
死んじまったけど
さやかは最後まで
心を取らせず
希望を失ったりは
しなかった！
あんたにだって…
魔獣に食われたくねえ
大事な願いってもんが
あるんじゃねえのか!?
願いなんて
知らない
私には…
キュゥべえと
契約した
記憶なんて
存在しない！

記憶が…ない？ じゃあ一体どうして魔法少女に…

さあね 過去の私に訊いて頂戴

今の私の与り知らぬ所で勝手に記憶を書き換えた張本人のようだから

「まどか」の話をおかしな妄想の類だと思ったでしょう？

そんな妄想に踊らされて私は魔法少女を続けていたの

魔獣なんてわけのわからないものと戦わされていたのよ！

滑稽よね 本当に居たのかすら定かでない人のために

円環の理？

魔法少女への救い…？

それが「まどか」である保証なんてどこにもない…

まどかだけが唯一の救いだと信じてきた私には

魔法少女の安寧なんて保証されていないのよ！

……

ごめんね
まどか

もう何も
信じられないの

何が正しくて

嘘の記憶
だったのか

…「マドカ」

なあに？
ほむらちゃん

………私を

魔法少女から
解放して

……っ

お…おい!

大丈夫かよ
マミ!?

…うん

いいよ

ほむらちゃんの
心は

わたしが守って
あげるから

いけないいっ
暁美さん!!

マミさん
杏子ちゃん

ごめんね

魔法少女まどか★マギカ 魔獄編 ②巻

お読み頂きありがとうございます。最終巻の③巻までお付き合い頂けますと幸いです。

すぺしゃるさんくす
★Magica Quartet様
★劇団イヌカレー様（魔獣デザイン）

＜初出一覧＞

- まんがタイムきらら☆マギカvol.23～vol.25
- 描き下ろし

本書は以上の内容を収録いたしました。

魔法少女まどか☆マギカ［魔獣編］　第2巻

原案：Magica Quartet　漫画：ハノカゲ

電子版発行日：2016年7月15日
発行人：東　敬彰
発行所：株式会社芳文社
東京都文京区後楽1-2-12

今回はあたしが魔獣図鑑を担当するわよ！

魔獣サヤカ・キョウコ

ほむらの記憶操作魔法を利用して
魔法少女たちの記憶の中にある
人間に擬態する魔獣だって。
時間操作魔法も少しだけ使えるみたい。
でも、人を惑わせて陥れようとするなんて
魔獣っていうより…なんだか魔女みたいよね？

魔獣マドカ

ほむらの元に現れた
自称"ほむらちゃんの味方"。
他の変異魔獣よりも
自我みたいなものを
感じる気がする。
あたしの知ってるまどかよりも
少し言葉足らずな
印象を受けるのは
交流手段を持たなかった
魔獣だからかも。

MANGA TIME KR COMICS

魔法少女まどか☆マギカ 魔獣編

PUELLA MAGI MADOKA MAGICA

2

漫画 ハノカゲ
原案 Magica Quartet

芳文社

ところでマミは変異魔獣に騙されなかったたんだろ？
なんで偽者だって分かったんだ？
私のは一目瞭然だったの
佐倉さんの言葉を借りるなら「胸糞」って気分の相手だったわ
はーん そいつは災難だったな
つーかあいつらあたしの格好にも化けてたとか マジむかつくよな～

さやかやあたしにそっくりだったって元の姿は魔獣だぜ？
とどのつまりおっさんのコスプレじゃねーか
おっさんがあたしの格好で…ねえわ～
ボフン
ボフン

後日

あら 暁美さん どうしたの？
……魔獣に…そもそも性別なんてあるのかしら…
おい 大丈夫か？
ついに本性を現したわね!! 人を呼ぶわよ!!
痴漢よ！
もーっ ほむらちゃんってばひどいよぉ！ わたし オトコノコなんかじゃないもんっ！
ダッ
近寄らないで 汚らわしいっ！